

道路事業

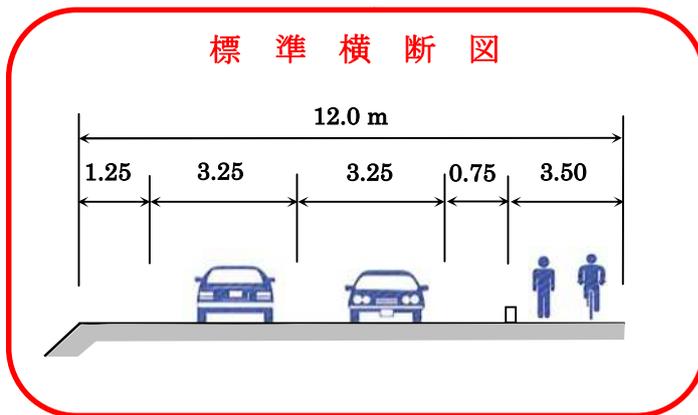
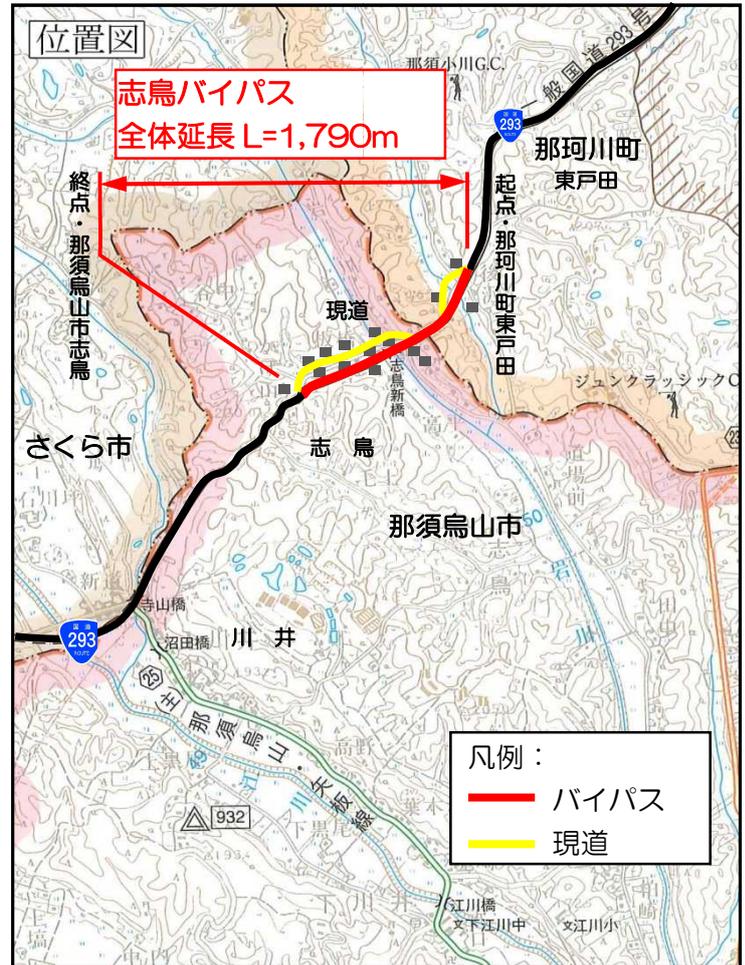
一般国道 293 号 ^{しどり} 志鳥バイパス (平成 21 年 1 月供用)

1 事業概要

一般国道 293 号は、茨城県日立市を起点とし、栃木県足利市に至る延長 170km の幹線道路です。特に、烏山土木管内では第 1 次緊急輸送道路として栃木県と茨城県を連絡するとともに、沿線地域の産業、経済、生活を支える重要な役割を担っています。

志鳥バイパスは、国道 293 号の那珂川町東戸田から那須烏山市志鳥までの 1,790m 区間において、バイパス整備を行うものです。

- ◆事業名：国庫補助道路改築事業
- ◆事業箇所：一般国道 293 号志鳥バイパス
(那珂川町東戸田～那須烏山市志鳥)
- ◆事業主体：栃木県
- ◆全体延長：1,790m
- ◆幅員：12.0m
(車道 6.5m、歩道 3.5m片側)
- ◆総事業費：約 13 億円
- ◆事業期間：平成 13 年度～平成 20 年度



2 事業の目的・必要性

本事業区間は、大型車の混入率が高い道路でありながら、人家連担地で、道路幅員が狭い上、屈曲部が多く、歩道もないことから歩行者、自転車が危険にさらされ、また自動車の走行性も悪い状態で、広域交通のボトルネックとなっていました。

このため、栃木県では「安全で円滑な交通の確保」「生活環境の改善」「防災機能の向上」「歩行者・自転車利用者の安全確保」を目的に、平成 13 年度よりバイパス整備に着手し、平成 21 年 1 月に全区間を供用しました。

3 事業の整備効果等

<費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化>

- ・事業費 着手前 約13億円 → 完成時 約13億円
- ・事業期間 着手前 平成13年度～平成18年度 → 完成時 平成13年度～平成20年度
事業期間延伸の理由：用地取得の遅延

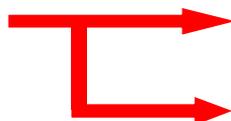
<整備効果>

本事業におけるバイパス整備によって、住宅街から大型車の通過交通が排除され、沿線集落の生活環境改善に大きく寄与するとともに、円滑な交通も確保され、地域内の安全な交通環境が整いました。

【自動車交通量】

整備前 (H17 道路交通センサス)

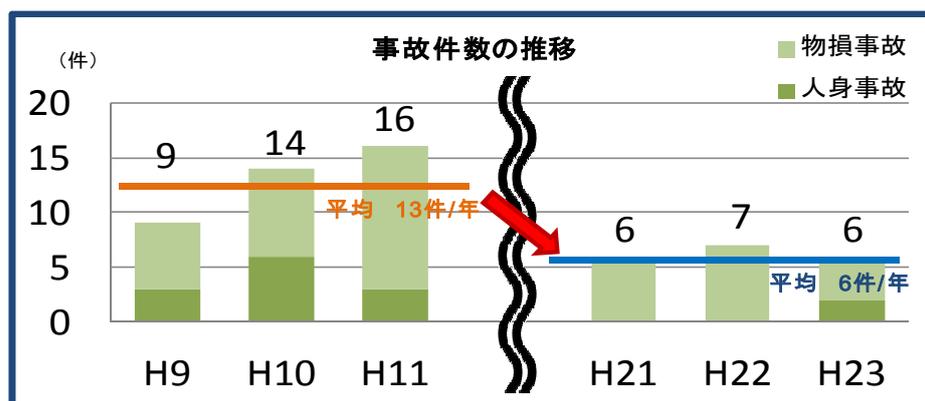
現道	5,415台/12時間
[内 大型車]	898台/12時間



整備後 (H24.4.18 調査)

現道	394台/12時間
[内 大型車]	65台/12時間
バイパス	5,105台/12時間
[内 大型車]	703台/12時間
総交通量	5,499台/12時間
[内 大型車]	769台/12時間

【交通事故の推移】



■整備前の事故件数

	整備前		
	H9	H10	H11
人身事故	3	6	3
物損事故	6	8	13
計	9	14	16



■整備後(バイパス含む)の事故件数

	整備後		
	H21	H22	H23
人身事故	0	0	2
物損事故	6	7	4
計	6	7	6

- バイパス交通が9割以上を占め、通過交通がバイパスに転換しています。
→道幅が広く、見通しの良いバイパスに交通が転換したことで、事故件数が減少した。
- 大型車等9割以上がバイパス利用となり、現道は生活道路となっています。

「安全で円滑な交通の確保」「生活環境の改善」が図られました。

【状況写真】

整備前現道



整備後

現道



バイパス



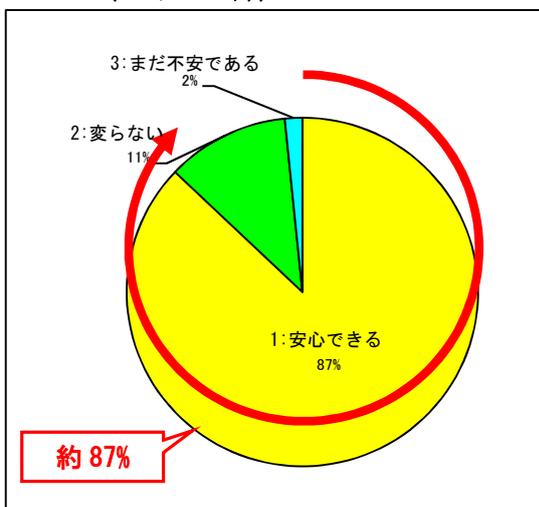
- 宅地連担・幅員狭隘区間を避けることによって、第1次緊急輸送路の「防災機能の向上」が図られました。
- 歩道を整備することにより「歩行者・自転車利用者の安全が確保」されました。

4 地元の声

一般国道 293 号志鳥バイパスの整備により、生活や環境などにどのような変化があったかを確認するために地域住民や企業、学校などにアンケート調査を実施しました。

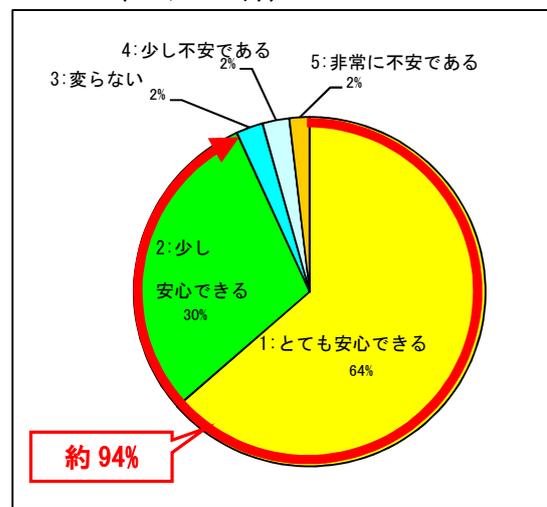
(回答数/配布数：194/227 件 回答率 85.5% ※有効回答数は設問により異なります。)

(1) 道路整備後の日常生活での安心感 (バイパス部)



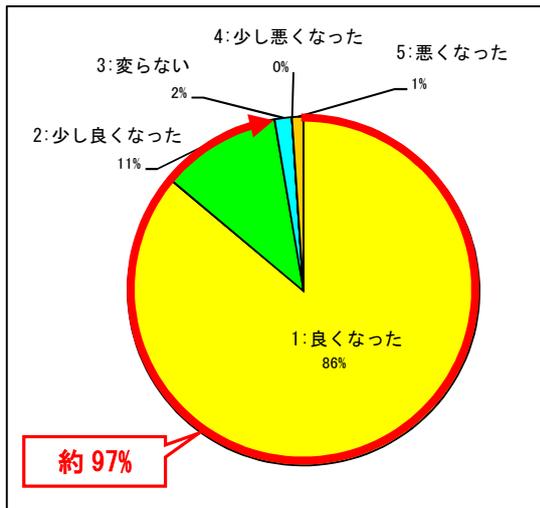
約9割の方が、安心できるようになりましたと感じています。

(2) 徒歩・自転車での安心感 (バイパス部)



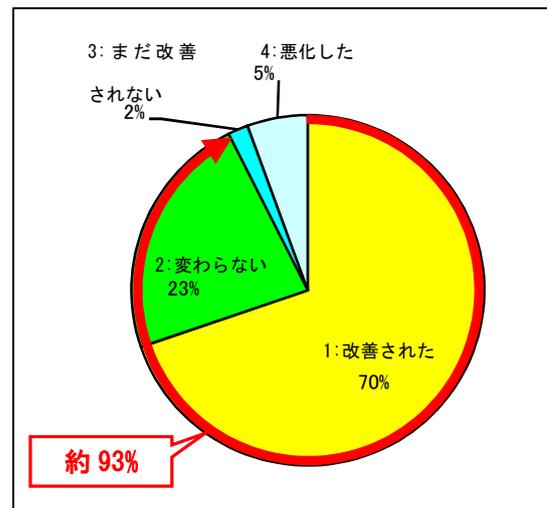
約9割の方が、徒歩・自転車通行で安心できると感じています。

(3) 車での走りやすさについて
(バイパス部)



ほとんどの方が、車での走りやすさが良くなったと感じています。

(4) 沿道環境の改善(騒音・振動など)
(バイパス部)



約 9割の方が、改善されたと感じています。

(5) 自由意見(代表的なご意見の抽出)

【本事業区間について】

- ・ 現道が生活道路となり、大型車が減って安心感が増しました。(50代・男性)
- ・ 民家のあるところを通らずにすむようになり、運転しやすくなりました。(40代・女性)
- ・ カーブが多いところだったので、雪の降った日の心配が減りました。(20代・女性)
- ・ 現道の交通量、大型車が減ったため安心して走行できるようになりました。(50代・男性)
- ・ 夜間等若者ドライバーのスピード出しすぎに危険を感じる。(60才以上・男性)
- ・ 交通量が増えて、騒音がひどくなりました。(50代・女性)

【国道 293 号をはじめとする道路整備について】

- ・ 志鳥地区から先の上川井方面の道路を早く整備してほしいです。(60代・女性)
- ・ 国道 293 号で歩道がないところがまだあるので、改善してほしい。(30代・男性)

5 事業による環境変化

特になし

6 事業を巡る社会経済情勢の変化

特になし

7 今後の事業評価の必要性及び改善措置の必要性

交通量調査やアンケート調査結果により、事業の目的である「安全で円滑な交通の確保」「生活環境の改善」「防災機能の向上」「歩行者・自転車利用者の安全確保」は図られています。

このため、今後の事後評価及び改善措置の必要性はないと考えています。

8 同種事業への反映

本事業については、十分な効果を確認することができたとともに、アンケート調査では、更なる利便性向上の要望等、幅広い視点から多くの貴重なご意見等を頂きました。今後、バイパス事業の計画策定や工事の実施、供用後の維持管理等に役立てて参ります。

栃木県では、今後も県民の皆様のご意見をお聞きしながら、より良い道路行政の推進に努めて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

栃木県 県土整備部 道路整備課

T E L : 028-623-2411 F A X : 028-623-2417
H P : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>
E-mail : doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp

